

# Kenren Kannon No.43

神奈川県  
合唱連盟  
機関情報誌

カノン 2003年秋号

発行:2003.10.20 神奈川県合唱連盟

イエローカードの効果?

## 奇跡が起きた! ?

「第46回神奈川県合唱祭報告」  
合唱祭実行委員長 田中 実

第46回神奈川県合唱祭が、6月の7・8・21・22日の4日間に亘り、神奈川県立音楽堂にて開催されました。出演団体は昨年とほぼ同数の179団体出演者は4200名を数えました。合唱連盟最大行事の合唱祭ですが、4日間とも会場は素敵なハーモニーで溢れ、大成功のうちに終了しました。講師は7・8日に足達勝子、鈴木良朝、中村義春、21・22日に安藤友侯、菅野正美、田尻明規の6名の先生にお願いしました。

今年1月に当連盟の会長を長年に亘り務められていきました村山拡也先生が亡くなられました。合唱祭初日の7日(土)に村山先生を偲ぶ会を行い多数の方々にご冥福をお祈り頂きました。本当に有り難うございました。

### ■■ イエローカード ■■

合唱祭ではタイムオーバーには演奏終了直後、指揮者に対してイエローカードを出します。Jリーグの発足と同時に始めたこのイエローカードですが、年々各合唱団にも浸透して来ました。各ブロックの始まりの注意事項で、舞台上手よりイエローカードを出しますと、客席は「ドット」沸き返り、演奏時間が7分近くの指揮者はドキッとしているようです。

年々減り続けてきたタイムオーバーですが今年、奇跡が起きました。179団体でタイムオーバーの団体が「0」となりました。イエローカードを世に知らしめたJリーグと、参加団体の皆さん、それと指揮者の先生方に感謝いたします。来年もよろしくお願ひいたします。

### ■■ アルモ・サクソフォン・カルテット ■■

ビザーの「カルメン・ファンタジー」で幕を開けたサクソフォンの響きは、シユーベルトの「アヴェマリ

ア」へ続き、最後はガーシュインの「ラプソディーインブルー」に満員となった会場の全てが酔いしれました。皆さん良くご存じの「ラプソディー・・・」の冒頭、普通はクラリネットで演奏するところをサクソフォンで演奏したわけですが、技術的にも難しく、響きも新鮮に聞こえ、初めて聴くカルテットに30分の時はあつという間でした。アンコールには「アメージンググレース」をカルテットの演奏と一緒に会場全体で歌いステージを終了しました。来年の合唱祭でもこのステージを企画したいと思います。



美しい響きで会場を魅了した

「アルモ・サクソフォン・カルテット」

### ■■ リージーズ ■■

「リージーズ」が復活しました。漢字で書くと「理事ズ」。連盟の理事の皆さんのが集まつての合唱団で、理事長の桑原妙子・副理事長の平井保も歌うこととなりました。今回は、指揮を合唱祭実行委員長の私、田中がする事になりました。私、合唱団でテノールの一員として歌ってあります。勿論この様な大きな舞台で指揮をするのは初めてですから、合唱団の皆さんに失礼があつてはと思い、演奏曲目のオスカーピターソン「HimToFreedom」の楽譜を携えて、生まれて初めて指揮法のレッスンに通うという貴重な体験もさせて頂きました。指揮者・ピアニストを含め18名の「リージーズ」の本番ステージは、予想をはるかに上まわる素晴らしい演奏でした。半ば強制ではありましたがアンコールも頂き、「アヴェ・ヴエルム・コルプス」まで演奏することができました。忙しい合間をぬって練習に参加して頂いた「リージーズ」の皆さん、本当にありがとうございました。来年も、指揮者ではない理事が指揮者となっての「リージーズ」がステージに上がります。どうぞよろしくお願ひいたします。

次項へつづく

主な内容	事業報告	・合唱祭 ・合唱講習会 ・お母さんコーラス/関東全国大会 ・合唱コンクール ・7月度理事会報告
	事業案内	・ヴィサンジョイントコンサートインヨコハマ ・メサイア演奏会
		・中高生のためのヴォーカルアンサンブルコンサート
	特集記事	・宝塚国際室内合唱コンクール報告 ・地域と結ぶ合唱プロジェクト ・県内合唱活動見聞記～横浜市～
コンサートガイド 11~12月の演奏会		・コラム合唱と私～平井副理事長～ ・お母さんコーラス全国大会視察報告 ・世界合唱シンポジウム
		他

(前項から続き)

■ ■ ジュニア合同演奏 ■ ■

今年4月に開催されたジュニア合唱祭は、第25回の記念の合唱祭となりました。それを記念してジュニア合唱祭の歌を創ろうという事になり、ジュニアの皆さんから詩を募集し、松下耕先生に委嘱して素晴らしい歌が生まれました。「ひかり」(須山真衣=富士見丘高等学校/作詩、松下耕/作曲)です。11団体から総勢170名のジュニアの皆さんでステージがいっぱいになり、普段は余り聞く機会の少ない大勢の子供達の素敵なハーモニーが会場に満ち溢れました。

■ ■ 公開レッスン ■ ■

今年の公開レッスンは、福島県からお越し頂いた菅野正美先生にお願いいたしました。菅野先生は、福島県の高校を率いてコンクールの全国制覇を何度もなさっていて、レッスンを受けた生田高校の皆さんも良くご存じの先生だったと思います。最終日の朝の合同発声の時も同じく、精力的な指導の中に適度に織り込まれたユーモア。高校生の皆さんがどんどん引き込まれて行く理由の一つをかいま見た気がしました。来年も公開レッスンの指導をお願いする予定であります。来年は是非一般の合唱団の参加をお待ちしております。



合唱祭、朝の風景から  
菅野先生(右上)のご指導で客席もゆらへりゆらり…



中高生のための合唱講習会発表演奏

《合唱フェスティバル連動企画》

**県内合唱活動見聞記**

横浜市地区

「横浜市内の合唱活動」 編集委員 清水稜平

神奈川県合唱連盟参加358団体の中で活動拠点が横浜なのは163団体(46% = 会員名簿2003年版より)、人口は県864万人と市307万人で(約36%)県連行事が横浜中心で行われているので交通の便利さが、この数字を物語っています。

県内主要各市にある市合唱連盟は、1960年代には横浜交響楽団の故小船幸次郎先生がリーダーの横浜市合唱連盟がありましたが現在はありません。

その機能を果たしているのが、ヨコハマ・コーラルフェスティバルと言えます。主催は横浜市文化振興財団と同実行委員会です(委員長は県連顧問でもある吉田孝古磨先生)。

あなたは何を「あげます」か?

# 詩の・うたの行間を よむのは楽しいこと

合唱講習会報告

合唱講習会実行委員長 松村努



瀬山詠子先生

8月10日、今年度第一回の合唱講習会が本郷台アースプラザにおいて開催されました。冷夏とはいえ、当日は台風一過の快晴で三十度を超える真夏日でしたが、早くから受講者の皆様が集まり始め、講習開始時には220席は立錐の余地もないほどの超満員となりました。

今回のテーマは講師に瀬山詠子先生をお招きして、『美しい日本語のための発音と发声』です。前半は逗子女声合唱団(川上久美子先生指揮)にモデル合唱団としてご協力をいただき、三善晃作曲『あげます』を題材に、詩の読み方、日本語の文法的構造とそれに伴う楽譜の解釈と演奏法を一小節一小節丁寧に教えていただきました。

マイク無しの(「日々歌うのでマイクはいやまです」とのこと)熱心なご指導に会場を埋めた受講者の皆さんには時間を忘れて聞き入っていました。

後半は(前半が押してしまって少々時間が足りなくなってしまいました。)受講者全員による合唱で『からたちの花』などをご指導いただきました。

大変に好評でした今回の瀬山先生によるシリーズは来年8月1日に、第2回を予定しております。ご期待下さい。



実行委員会が毎回組織され、事務局、企画部、制作部が26名の市内の識者と合唱団員で構成されています。次回は、みなとみらいホールで来年2月20・21日小ホール、22日大ホールで開催されます。今年は99団体が参加しました。参加希望が約二倍なので抽選で決め、落選団体は翌年優先権がある選考方法を取っています。なお当日の運営も出演の全団体に参加協力を頼っています。事前説明会があり周知徹底を感じます。

他には、県立音楽堂主催の平日4日間開催のおかあさんコーラス大会、市内の18各区での合唱大会や、約半数の区が主催する区民参加の『第九交響曲合唱』の演奏会が音楽活動として定着しています。

市内の合唱団数は千団体近いと推測されますが悩みは、合唱練習と発表会場の少なさで、市民利用施設予約システムの中・大ホールと各区の公会堂を合わせて30数ホール。定期演奏会を開催する団体は、抽選結果に一喜一憂しています。

# オクターヴ・リングに 「ひまわり賞」

あかあさんコーラス関東大会及び

## 全国大会 報告

実行委員長 奥河瑛子  
(5ページに関連記事)



関東大会のステージ風景  
第26回「全日本あかあさんコーラス」関東大会が、7月12日(土)と13日(日)、静岡県浜松市のアクトシティ浜松・大ホールで開催され、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、静岡の9県から代表106団体、約3,100人が集まりました。二日間の優秀賞団体から、抽選などの方法で全国大会に出場する9団体が選ばされました。

全国大会出場団は次の通り。

☆女声合唱団コール滝の原(栃木)、浦和女声合唱団(埼玉)、新柏女声合唱団(千葉)、焼津市民合唱団(静岡)、七郎記念合唱団(千葉)、コールメイツ・としとらーず(栃木)、オクターヴ・リング(神奈川)、花の環コーラス(千葉)、まどかコーラス(神奈川)。



↑会場のアクトシティホールは東海随一のランドマーク。↑歌い終りほっとして思わずにつっこり。すると目の前にはお土産がぎらり!

第26回全日本あかあさんコーラス全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催、キューピー株式会社協賛)は8月23(土)24日(日)の両日、滋賀県大津市の滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで開催されました。

56団体1,770人が出場して日頃の成果を競い、「ひまわり賞」が17団体に贈られました。神奈川県では、オクターヴ・リングが「ひまわり賞」を獲得しました。

## 7月度理事会報告

日時: 2003年7月6日

場所: かながわ県民センター

[報告]

1. 第46回神奈川県合唱祭開催報告
2. 第46回神奈川県合唱コンクール出場団体状況報告
3. 全日本おかあさんコーラス全国大会準備状況報告
4. 関東支部運営委員会・全日本総会報告
5. メサイア準備状況報告
6. 第27回合唱フェスティバル準備状況報告
7. 県連事務所移転(8月1日より執務)  
〒231-0021 横浜市中区日本大通15番地  
横浜朝日会館4階  
TEL・FAX(045)681-6033

[議題]

1. 第6回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト参加要項の検討と承認

## 第20回

# 宝塚国際室内合唱コンクール報告

理事長 桑原妙子



私は、宝塚コンクール=暑いというイメージが染み付いていますが今年は「ここはどこ?」という涼しさでした。コンクールに先立つ3日間“合唱指揮者講習会～マスタークラスマ”がトヌ・カリュステ氏を講師に迎えて、ジャパンユース合唱団をモデルに開催されました。的確な指摘で多くのものを学んだと6人の受講生は喜んでいました。その後の2日間は、テープ審査で選ばれた33の合唱団による1日目、その中から選ばれた5団体によるグランプリコンクールの2日目という形で行われました。

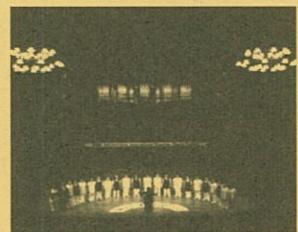
海外からはチェコのモラヴィア混声合唱団、サーズで来日が危ぶまれたタイペイ男声合唱団の2団体でした。審査員は海外3名(エストニア、ポーランド、台湾)、関西4名、関東2名の計9名でした。従来は女声、男声、混声のカテゴリーでしたが20回記念ということで、①ルネッサンス・バロック②古典・ロマン派③現代というカテゴリーで演奏されました。全部門を演奏するためには相当の実力が必要で、なんてキツイコンクールだろうと心配していました。

グランプリコンクールに残ったのは男声2、混声3の5団体で、珍しく女声が含まれませんでした。グランプリの「なにわコラリーズ(男声)」はトナカイの様子を歌ったヘルシンキの作品が、2位の「タイペイ(男声)」は松下耕の刈干切唄が印象的でした。チェコの合唱団は代理の指揮者だったため実力が発揮できなかつたのではないかと残念に思いました。

私は今回を含めて数回審査に伺っておりますが第2回から10年近くマルベリーと共に参加し沢山の勉強をさせてもらいました。

各地でアンサンブルコンテストが盛んですが、宝塚がその口火を切ったとも言えます。

ぜひ皆さん一度宝塚へお出かけ下さい。ベガホールの素晴らしい響きと素敵なかっこ二を堪能できると思います。



2. 平成16年度おかあさんコーラス大会選考委員・合唱祭講師・コンクール審査員について提案と承認
3. 第10回ヴィサン・ジョイントコーラス・フェスティバルの企画  
2004年11月11日(木)12日(金)2日間開催
4. 会費値上げについて  
検討チームを編成し審議していく
5. 新加盟団体
  - [中学会員] 厚木市立睦合中学校合唱団、厚木市立玉川中学校、厚木市立東名中学校
  - [高校会員] 清泉女学校、県立弥栄東・弥栄西高校  
合同合唱団
  - [一般会員] 合唱団「たまとも」、聖ドミニコ学園OG合唱団  
以上、入会承認

# 今年は励まされました！

「第46回神奈川県合唱コンクール」開催の報告とお礼  
実行委員長 鈴木章司

合唱コンクールは9月7日日曜日に開催され、43団体約1,200人の出場者を得て14団体を県代表として選出し幕を閉じました。会場には早朝からの開催にも拘らず、大勢の熱心な聴衆を集め、その数はのべ2000人を越えたかもしれません。また、最後まで大勢の方が会場に残っていただいたお陰で、審査発表・表彰式も大いに盛り上がり、受賞団体の喜びもより大きなものになったと思います。

さて、今年は一日開催・NHKコンクールとの日程調整失敗と一度にたくさんの不安材料を抱えての開催でした。一日開催の功罪は今後の検証を待つべきで 急に結論付けるのは賢明ではないと思います。もちろんスケジュールがタイトになりすぎて、ステージの遅れを取り戻せる「のりしろ」がなかつたことは言つまでもないマイナス面です。ここは来年までに対策を講じる必要があります。

プラス面としては、今まで同じ日のステージに立つことがなかった部門同士が時間の許す限り同じ空間を共有できたことが上げられると思います。お互いに刺激し合える関係でいられることが神奈川の合唱を発展させてくれるものと信じています。

例年のごとく素晴らしいひびきを聞かせてくれた県立音楽堂とそれを支え、また当日も（普段より一時間早い出勤を強いました）裏方として大会を支えて下さった音楽堂スタッフの皆さん、ありがとうございました。

ほぼ12時間の間、演奏を聴き審査して下さった審査員の先生方、お疲れ様でした。ありがとうございました。まだどこかでお世話になることもあろうかと思いますが、これに懲りずに神奈川の合唱をよろしくお願ひします。

スタッフパンクからも運営に大勢の仲間が応援してくれました。（司会に、また、影アナウンサーとしてステージに出る歌い手を応援してくれる広瀬さんも普段は「横浜混声合唱団」で歌っている合唱仲間なんですよ。）裏方を務めたスタッフの皆さんありがとうございます！

そして本当にこころから応援してくださった観客の皆さん、そしてそして、なんといつても主役の出場者の皆さん、お疲れ様でした！！ありがとうございました。代表に選ばれた団体の皆さんはすぐに次への準備に余念なく、また惜しくも選に漏れた団体の皆さんは捲土重来。来年に向けて更に腕を（声を？）磨いてください。

また来年音楽堂に素晴らしい時が流れますように。来年もお待ちしています。ありがとうございました。

## お詫びと訂正

先の神奈川県合唱コンクールに於いて、大会の根幹を成す出場要項に重大な誤りがあり、結果的に関係者の方々に多大なご迷惑をお掛けいたしました。

神奈川県合唱連盟及び神奈川県合唱コンクール実行委員会は、今後このようなことがないよう事前の確認を更に厳重にし、且つ間違いを誘発するあいまいな表現を正して参ります。

ご迷惑をかけた関係者の方には心からお詫び申し上げます、申し訳ありませんでした。（結果表上で訂正）

## 第46回

### 神奈川県合唱コンクール審査結果結果一覧

2003.9.8

部門	団体名	賞	関東大会
中学 同声	聖ヨゼフ学園中学校グリーグラブ	銀賞	
	清泉女学院中学音楽部	金賞	代表
中学 混声	厚木市立睦合東中学校選択合唱団	銅賞	
	厚木市立玉川中学校	銅賞	
	厚木市立睦合東中学校2年合唱団	銅賞	
	横浜国大附属鎌倉中学校	金賞	代表
	川崎市立白鳥中学校 白鳥合唱団	銀賞	
高校 A	茅ヶ崎市立松林中学校合唱部	金賞	代表
	清泉女学院高校音楽部	金賞	代表
	慶應義塾湘南藤沢中・高合唱部	銅賞	
	県立大船高校合唱部	銀賞	
	富士見丘中・高等学校合唱部	銅賞	
	日本女子大学附属高等学校	銀賞	
高校 B	県立秦野南が丘高校合唱部	銅賞	
	県立生田高校グリークラブ	銅賞	
	県立多摩高校合唱部	金賞	代表
	県立弥栄東・西高校合同合唱団	銀賞	
	北鎌倉女子学園コーラス部	金賞	代表
大学	東海大学文化部連合会グリークラブ	銀賞	
	鎌倉女子大学合唱団	金賞	代表
職場	日立コール・システム・プラザ	金賞	代表
	川崎市立養護学校ノンアル・コール	銅賞	
一般 A	男声合唱団「グリーンスリーヴス」		
	合唱団ウォック		
	ヴォーカルアンサンブル未生	銅賞	
	合唱団プレアンブルム		
	アンサンブル・ピノ	金賞	代表
	かながわフリーダム・シンガーズ	金賞	
	女声合唱団横浜アカデミー	銅賞	
	合唱団リベルテ	銅賞	
	女声合唱団グリーン・フラッシュ		
	フランシス・ブーランク合唱団	銀賞	
	Trinity	金賞	代表
	クワイアーナツツ	金賞	代表
一般 B	聖ドミニコ学園OG合唱団		
	フラウエンコア・ウォンネ	銀賞	
	南エコーコーラス		
	女声合唱団さがみ		
	合唱団たまとも	金賞	代表
	逗子女声合唱団	銀賞	
シード	ルミナス・コール	銅賞	
	コール・キリエ	金賞	代表
	小田原少年少女合唱隊		シード代表
全日本合唱連盟理事長賞		合唱団たまとも	

訂正

※表中、一部名称を省略しています。

第46回神奈川県合唱コンクール「大学部門」の審査結果発表及び表彰式で「東海大学文化部連合会グリークラブ」は「銀賞・関東大会県代表」と発表・表彰いたしましたが「銀賞」に訂正させて頂きます。

第26回

# 全日本あかあさんコーラス 全国大会 視察報告

次回あかあさんコーラス全国大会  
実行委員 田中 実

滋賀県大津市の滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて、8月23日(土)・24日(日)の両日、第26回全日本あかあさんコーラス全国大会が開催されました。来年の平成16年8月28日(土)・29日(日)には次回の第27回全国大会が横須賀の芸術劇場大ホールで開催が決まっており、神奈川県合唱連盟主管で行われます。今回は、そのための視察として神奈川県の実行委員8名でびわ湖ホールを訪れました。なお神奈川県からは「オクターヴ・リング」・「まどかコーラス」の2団体が晴れの舞台に出場しました。

先発隊の奥河、樋口、福田の3名は大会前日22日(金)午後から会場入り。大会の準備作業、代表者会議等を中心に視察。後発隊の私田中、平井、鈴木(草)並木、田中(勝)の5名は、23日(土)新横浜7時9分発の「のぞみ3号」で一路びわ湖を目指し、9時半には会場に到着。(私「700系のぞみ」に乗るのが初めて、びわ湖を見るのも初めて、あかあさんの全国大会も初めてと、半分観光気分の自分に気付き少しだけ戒める。)「のぞみ」の中の2時間は例によって合唱談議、最後は指揮法講習会で締めくくり、あつとう間に京都に着いてしまいました。



会場に到着し、まず驚いたのが、琵琶湖畔に建てられたホールの広さとロケーションの素晴らしさ。これは、大都市空間では決して成し得ない状況。(来年の部分は目つぶることにしました。)ホールで先発隊と合流。オープニングの児童合唱を聴いた後、午前の部の最後の団体「コーコー・レ・ラーネ(東京都)」について合唱団の動線を一周。途中先発隊の話にちょっと驚く、「当日券を買うために朝の6時から並んでいるよ」。今までの神奈川県主管の全国および関東大会では経験したことがない。この大会のチケットがなかなか入手困難なプレミアチケットだと初めて知りました。動線で気づいたこと。歩く距離が長い。会場が広いのでこれは必然。横須賀芸術劇場に関しては建物の階数が多いので上下の動線が問題になってくると脳裏をかすめる。それと最後の集合写真のロケーション。ここには琵琶湖があるが、横須賀芸術劇場にはそれらしい処が見当らない。出演団体は、両日共に28団体づつの計56団体、23日に神奈川の2団体が出演しました。

昼食の後、舞台の進行状況を見るため舞台裏に張り付く。さすが関西合唱連盟が総力を上げて運営しているだけあって、きっちりと進行していました。ただ、司会進行の方が男性で、影アナも男性。これは好き嫌いもあるので何とも言えませんが、女性の方が良かったのかなという印象を受けました。15時からは別会場で明日の出演団体を集めての代表者会議が行われるので、真夏の日射しが照りつける中を平井さんと会場へ向かう。会議は京都府合唱連盟理事長の浅井敬壱さんの挨拶で始まりましたが、終始笑い声が絶えない。これは関西のノリか?

代表者会議終了後、クロージングを見るため急ぎホールへ戻る。招待演奏の大坂府立春日丘高等学校音楽部の演奏は始まっていて会場全体が笑いの渦。30分の演奏中、笑いを絶えさせず飽きさせない演奏に出会ったのは初めてでした。後で役員の方に伺ったところ関西では高島昌二先生の淀川工業高校とこの春日丘高校が双璧とのこと、なるほどと感心しました。少し残念だったのは、この素晴らしい演奏のため、本来目立つはずのあかあさんの演奏の印象が薄くなってしまったこと。神奈川には、この様な合唱団は見あたらないのでオープニングとクロージングに関しては熟慮が必要。神奈川の「オクターヴ・リング」がひまわり賞に輝きました。伊集院先生おめでとうございました。



今回の視察の重要な項目の一つ「ザ・パーティー」が19時より琵琶湖ホテルで開かれる。全員タクシーで移動。立食パーティーで参加者は700名程度。例年食べ物が少なくあかあさんたちの旺盛な食欲に耐えられず、あつとう間にテーブルが空になってしまったと聞かされていましたが、今回の食べ物はふんだんで、終了時にはかなり残っていました。パーティーは型どおりに始まりましたが、乾杯の後はドンチャン騒ぎ。これも関西のノリか? 最後は出席者の男性も加えての男声合唱「いざ立て戦人よ」と「月光とピエロ」でパーティーを締めくくりました。神奈川ではもう少しあとなくやろうと思います。

2日目の朝、8時30分からのスタッフ説明会を視察。この規模の大会を何度もこなしている関西合唱連盟だけあって、非常に手際が良い。150名近いスタッフの一人一人には、事前に各担当のマニュアルが配布されていて、短時間で作業に移れるようになっていました。この日は、各々の担当部門を視察ということで、私はオープニングとクロージングを中心に、前日は余り聴くことが出来なかった演奏も聴きながら、来年の横須賀を思いながらの視察でした。オープニングは前日と同じく児童合唱でしたが、どちらの合唱も選曲が暗くオープニングにはどうなのか?という思いがしました。クロージングに関しては、京都工科の演奏と聞いて期待をしましたが、混声あり、男声あり女声のデュエットありとパライティーに富過ぎ、特にデュエットは完全に失敗演奏になりました。最後のステージに失敗は許されないと肝に銘じました。表彰式は前日の不手際も解消され無事に終了。全日本合唱連盟理事長の吉村信良さんの指揮で「夏の思い出」を全員合唱して、全日程を終了しました。病気を押して出場された(神奈川県にもお馴染みの)辻正行先生の「多摩フラウエンコール」がひまわり賞に輝いたのが印象的でした。

京都発19時9分発の「のぞみ26号」に間に合うよう、大会終了と同時に会場を後に。お世話になった大会役員の方々とゆっくりお話しする時間がなく、お礼の言葉もそこそこに引き上げなければならなかつたことが心残りでした。京都駅でお弁当とおみやげの生八つ橋を買い、2度目となる「700系のぞみ」に乗り込み新横浜を目指す。車内では、お弁当を食べながらの視察話に花が咲き、例によつての合唱談議に2時間がまたまたあつとう間にすぎてしまいました。実り多かった今回の視察により、来年の横須賀芸術劇場での全国大会に向けて、幾つかの問題点と共に、大きな自信も見つけて来た様な思いがしました。



第9回

**ヴィサン・ジョイントコーラス・  
フェスティバルinよこはま**  
開催の御案内  
ヴィサン実行委員長 吉田奈美子



平成15年11月6日(木)  
午前10時より

横浜みなとみらいホール  
大ホール

参加団体 43団体

参加人員 1627人

入場料 無料

講 師 桑原妙子

吉田孝古麿 両先生

「ヴィサン」が中心となりシニア団体が合唱の発表という形式をとりながら「心身ともに健康で健全な生活をし社会に貢献できる人生」を理想として、演奏会を続けてきましたが、今年で第9回となりました。

一部の団体の合唱活動にとどまらず、最近急速に増加している団体にも呼びかけ、仲間の輪を広げています。非常に楽しみで福祉の一端を負っている感じです。生涯教育の中で高齢者対策が弱者の介護・福祉に偏っていて、健康管理に気を付けている元気な人たちへのケアが少なく見える今日ですが、「ヴィサン」の主旨に対しては各方面から関心を寄せられ、横浜市からも共催を得てあります。私達シニア部会にとって非常に心強いことで嬉しい限りです。

第1回からの変遷をみると、第4回に横浜みなとみらいホールに会場を移してからは飛躍的に参加団体が増加し、県外からの申込みも多くなりました。第6回には北海道・函館から130名の出演があり、又、第8回には東京都・水戸市・静岡市・富山県砺波市からの参加があり、社会貢献としても役立つ催事となりつつあります。

実行委員一同シニアの方々のステージに立つ喜びの瞬間に、力の限りお手伝いしたいと考えて張り切っています。当日はどうぞ皆様の御来聴をお待ちしています。

尚、平成16年は「ヴィサン」も10周年を迎え、11月11日(木)、12日(金)の2日間で行います。なにか心に残る有意義な記念行事を、と模索しております。ご期待下さい。また皆様からのアイディアもお待ちしております。

第10回

**中・高生のための  
ヴォーカルアンサンブル  
コンサート** のご案内

担当理事 小川 英子

今年のアンサンブルコンサートは、12月25日(木)に、海老名市文化会館小ホールにて行われます。今年で10年目をむかえるこのコンサートですが、毎年たいへん盛況で、参加団体は勿論のことお客様も多数いらしてくださいます。曲目も多様で宗教音楽からジャズ、ポップス、民謡までと幅広いジャンルで参加いただいています。

参加については1チーム2~15名で1校で複数チームの参加が可能です。演奏形態は2部合唱以上の合唱で、参加費は1チーム1,500円です。詳しい要項は9月下旬に出す予定ですのでご確認ください。今年も多数のチームの参加をお待ちしております。

第38回 クリスマス音楽会

**メサイア演奏会**

の案内  
神奈川県合唱連盟メサイア委員会

委員長 川上久美子

今年度より神奈川県立音楽堂主催「クリスマス音楽会・メサイア演奏会」の合唱を神奈川県合唱連盟が共催することになりました。よって本連盟加盟約400団体に呼びかけ応募総数262名の方々の御参加をいただきました。

実行委員会としましてはこのように多数の方々のメサイアを歌う歓びを持たれていますが、それに反して音楽堂のステージの関係で全員本番に望むことが不可能なため簡単なオーディションをさせて頂くことに心痛めています。

10月1日より5回の前半練習を行ない簡単なオーディションで150名ぐらいに絞られ、後半11月26日より小泉ひろし先生御指導の合同練習5回、リハーサル、本番と言うスケジュールになってあります。

お聴きに来てくださる方は下記の入場方法を御参照の上御来場をお待ち申し上げます。

第38回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会

日 時：2003年12月14日(日)

14:30開演(13:45開場)

会 場：神奈川県立音楽堂

主 催：神奈川県立音楽堂

(財団法人神奈川芸術文化財団)

共 催：神奈川県合唱連盟

指揮：小泉ひろし

ソプラノ：平松英子、カウンタテナー：上杉清仁

テノール：望月哲也、バ 蘭：青山 貴

チェンバロ：浅井寛子、オルガン：宇内千晴

合唱指導：桑原妙子他

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

合 唱：神奈川県合唱連盟

入場方法：往復ハガキによる申込み

(※応募多数の場合、抽選)

受付期間：11月1日(金)

～11月14日(木) 当日消印有効

※PRESS(9/15発行)、県のたより10月号で募集

事業担当 神奈川県立音楽堂

(財団法人神奈川芸術文化財団)

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

TEL 045-263-2567 FAX 045-243-6216

合唱に関する問い合わせ先

神奈川県合唱連盟メサイア委員会

川上久美子 0468-73-2777

(FAX 0468-71-6583)

高橋 勝 045-451-0570

奥河瑛子 045-337-1125

磯村慎一 045-712-2882

神奈川県合唱連盟事務局

(巻末に記載)



## 地域と結ぶ合唱プロジェクトXI ～平塚市立春日野中学校を訪問指導～

「2年前に頂いたパンフレットを大事にファイルしておいたのですが、訪問指導って本当に下さるのでしょうか？」という電話があったことを前号でお知らせしましたが、思いがけず「春日野中学校？・・・僕の母校です。」という志澤理事のことばに、即、講師も決まり、7月10日に1回目の訪問指導を行いました。



春日野中学校は平塚駅より車で10分ほどの所にあり、古い歴史のある学校だそうです。正面玄関前にドーム形の小さな建物があり、その中に大きな釣り鐘が下がっているのが、一際目を引きました。

「これは春日野中学校のシンボルで自灯の鐘と言ってね・・・」と志澤講師の卒業生ならではの説明があり、音楽の先生との打ち合わせも懐かしい話を交えながら和やかに行われました。

早速、会場の体育館へ行くと、生徒と先生が雑壇を並べて、準備をしていました。最初に志澤講師が「僕はここの卒業生です。ある時、市内の連合音楽会に参加するのに合唱部に男子が二人しかいなくて、助っ人として参加したのが、僕が合唱を好きになったきっかけです。」と挨拶し、生徒は先輩のお話として興味深

プロジェクト委員長 地崎律子

そうに耳を傾けていました。

レッスンが始まり、はじめに一年生（4クラス130人）が生徒の伴奏で「君をのせて」と「マイ・バラード」を、次に2年生（4クラス130人）が「翼をください」と「風は今」を歌いました。「こんなに大勢いるのに声がよく聞こえないな。男子！歌ってたの？」「しっかりした声を出すには、体をしっかりさせなければ・・・」と、まず姿勢を注意し、声の出し方や正しい音程やリズム、伴奏者と指揮者にアドバイス等をしていると、あっという間に時間が過ぎていきました。

指導が終わって、志澤講師は「合唱団の指導と違って学校では、音楽の好き嫌い関係なく音楽指導しなければならないので、音楽の先生の大変さを痛感しました。我々プロジェクトがあ手伝いする重要



性を感じました」と語り、また、学校の音楽の先生は「今回、男性の先生に習うことが出来て、大変喜んでいます。男子生徒に男声の素晴らしい声を、生で聞かせていただいたことはとても良かったと思います」との感想を述べていられました。春日野中学校には9月にもう一度訪問する予定です。

### コラム・シリーズ

## ～合唱とわたし～



### ★ 音符のこと

今では、合唱を愛する人や、何らかの音楽を勉強している人にとって、音符を読むなどという事は何でもない事かもしれません。私が指導を依頼されて行っている小学校の合唱クラブでも、中学校の吹奏楽部の部員も、実によく音符を読んでいます。しかし、私がこの生徒達と同年代の頃は、全く楽譜が解らず、音符を読むなどという事は出来ないばかりか、♯や♭、ト音記号などは、まるで別の星のもののように思っていたものです。何しろ、音楽が嫌いで逃げ回ってばかりですから。

中学3年の時に、ただ声が大きいからという理由で、校内音楽コンクールに推薦され（それも本人に内緒で）、仕方ナシに独唱をした所、たまたま2位になってしまったのが、音楽に関わりを持つきっかけになりました。この時以降、担任の森田悦夫先生（3年前にガンで他界されました）が「若者よ」という2部合唱をホームルームで全員に歌わせたのが合唱の初体験。その後合唱部に入れられ（自分で入った訳ではなく）合唱コンクールにも出場。でも、楽譜で必要だったのは歌詞だけでした。

17才の頃、知人が「家に遊びに来い」というのでお伺いした所、その方が奥様にいきなり「少し面倒をみてやれ」と。「いらっしゃい」と手招きされ、入ってみたらレッスン室。唐突にコールユーブンゲンを渡されて「声を出してござんなさい！」。だがしかし、音符が読めません…とは言い出せず、「これからどうなるのだろうか」と、脂汗をかきつつ、レッスンに通うようになったのが音符との出会いの始まりです。ちなみに、その奥様は音大の先生でした。

それからというもの、電車の中でも道を歩いていても楽譜から目を離さず、その甲斐あってか、音符と仲良くなれたようです。今にして思えば、ずいぶん遅い音符との出会いでした。でも、これがなかったら、今の私はありませんでしたね。

### ★ 仲間達のこと

若い頃は合唱をしているだけで楽しく、暇さえあれば何人か集まって合唱をしていたものです。でも、練習所もなく、随分苦労しましたね。貧しい時代ですから、いつも友人の下宿先に、米や野菜や味噌を持って集合し、自炊をしながら歌っていましたが、部屋で歌っていると近所から「うるさい」と怒鳴られ、仕方無しに野毛山動物園に出かけて、屋外で大きな声で合唱をしていました。よく追い出されなかつたと思います。

こんな楽しい仲間たちの事を忘れる事はありません。合唱をしていました陰で、この歳になるまでに沢山の方々との巡り合いがあり、その一つ一つが人生を豊かしてくれました。

今、たくさんの恩師や仲間達に感謝、感謝です。

神奈川県合唱連盟加盟団体

# コンサートガイド

2003年11月~



☆9月10日までに編集室にお届けのあった分について掲載しました。  
☆次回締め切りは12月10日  
発行は来年1月20日の予定です。

11月

平塚市・平塚市文化財団主催  
**オラトリオ・天地創造(ハイドン)演奏会**  
指揮:黒岩 英臣  
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
合唱:天地創造市民合唱団  
共演:佐藤ひさら、経種 廉彦、米谷毅彦、高橋敬三  
会場:平塚市民センターホール  
入場料:2,000円 高校生以下1,000円 ペア券(2名)3,500円(全自由席)  
問い合わせ:平塚市文化財団事業課 0463-32-2237

13日 (木)  
開演 14:00

**本郷女声合唱団 20周年記念演奏会**  
 ◇ 明日に向かって 金川明裕編曲  
 ◇ Missa in Promptu Jan Mul作曲  
 ◇ 抒情小曲集「月の角笛」 木下牧子作曲  
 ◇ 「白いうた 青いうた」から 新実徳英作・編曲  
 特別出演:新実徳英(指揮&talk)  
 指揮:金川明裕 伴奏:山田美帆 テノール:榎原 哲 ヴァイオリン:永野 亜希  
 会場:横浜みなとみらい小ホール 入場料1,000円(自由定員制)  
 問い合わせ:宮村さん 045-892-1293

15日 (土)  
開演 14:30

**女声合唱団「松」10周年記念コンサート**  
 ◇ 「佐渡おけさ」 新潟県民謡 山本純ノ介:編曲  
 ◇ 「谷茶前節・ていんさぐぬ花」 沖縄県民謡  
 ◇ 「映像・」 尾形敏幸作曲  
 ◇ ハンガリーの作曲家を集めて ほか  
 指揮:松村 努  
 伴奏:織田祥代  
 ソプラノ:櫻井悦代  
 会場:鎌倉芸術館大ホール 入場料:一般1,500円 学生800円(全自由席)

15日 (土)  
開演 18:00

**横浜YMCA混声合唱団 第42回定期演奏会**  
 ◇ ミサ・プレヴィス パレストリーナ作曲  
 ◇ 宗教小品集 泉を求める鹿のごとく バビロンの流れに 他 パレストリーナ作曲  
 ◇ ディズニー合唱曲集 星に願いを 小さな世界 ハイホー 他  
 ◇ 地平線のかなたへ 谷川俊太郎:作詩 木下牧子:作曲  
 指揮:望月寛之、宍戸 純  
 伴奏:佐藤涼子  
 会場:神奈川県立音楽堂 入場料:1,000円  
 問い合わせ:小島基弘さん 045-853-1704

<b>11月</b> 18日 (火) 開演 14:00	<b>左近山工コー創立35周年記念演奏会</b> ◇「北の国から」さだまさし作曲 ◇「三声のミサ曲」 A. Caplet 作曲 ◇「フィガロの結婚」序曲 早野柳三郎：作詞・編曲 ◇女声合唱組曲「水のいのち」高野喜久雄作詩 高田三郎：作曲 指揮：東嶋正彦 伴奏：古瀬安子 会場：神奈川県立音楽堂 入場料：1,000円 問い合わせ：谷津さん 045-362-0593
19日 (水) 開演 19:00	<b>上大岡混声合唱団第37回定期演奏会</b> ◇「ミサ曲二長調」 ドボルザーク作曲 ◇「北極星の子守歌」から 新実徳英作曲 ◇「ウィーンの森の物語」 J. シュトラウス作曲 指揮：中村 皇 伴奏：押川 涼子 会場：神奈川県立音楽堂 入場料1,000円（全自由席） 問い合わせ：小室さん 045-780-3736 kami-kon@yahoo.co.jp
20日 (木) 開演 18:30	<b>汐見台フラウエンコール 第10回定期演奏会</b> ◇「時無草」「犀川」 磯部叔作曲 ◇「キャロルの祭典」 B. ブリテン作曲 ◇「アーレルヤ」集 R. トンプソン作曲 他 ◇なつかしのポピュラーソング「白いプランコ」「いつでも夢を」他 指揮：岡本俊久 伴奏：安藤江浪 ゲスト：NSクワトロプラス4(伊集院俊光、岸信介、金川明裕、岡本俊久 佐々木紀夫、坂本恒太、奥隅正、榎原哲) 会場：神奈川県立音楽堂 入場料：1,000円 問い合わせ：小代（しょうだい）さん 045-753-7259
23日 (日) 開演 19:00	<b>せやあじさいコーラス20周年記念コンサート</b> ◇「あじさいの歌」「花の街」「花園」他小品集 ◇ゲスト：横浜稻門グリーの演奏 ◇「横浜はバラの町」吉田孝古磨作曲 「愛燐々」小椋佳作詞作曲 他 会場：神奈川県立音楽堂 入場無料 問い合わせ：大和田直美さん 045-303-1169
24日 (月・祝日) 開演 14:30	<b>ボカ・グランデ 第11回定期演奏会</b> ◇Messe in Es op. 155 Josef Gabriel Rheinberger ◇女声合唱組曲「萬葉・愛の歌」庭もほどろに 中島はる作曲 ◇「白いうた青いうた」から 新実徳英作・編曲 ◇女声合唱とピアノのための組曲「鎌倉の四季」小林秀雄作曲 指揮：石井 康男 伴奏：久野 圭子 会場：鎌倉芸術館大ホール 入場料1,000円（全自由席） 問い合わせ先 志賀さん 0466-22-2510 斎藤さん 0467-32-7185

11 月	29日 (土) 開演 14:00	コーコ・トレフル 第6回演奏会 ◇ 女声合唱組曲「遙かな歩み」 高田三郎作曲 ◇ ミサ曲 第2番 KOCSAR MIKLOS作曲 ◇ オルGANソロ カヴァティーナ作曲 他 ◇ ハンドベル演奏 CANON作曲 他 指揮：松阪照子 伴奏・オルGAN：大竹摩美子 賛助出演：しろさと・ベル・フレンズ 会場：神奈川県民小ホール 入場無料 問い合わせ 三浦さん TEL 044-395-1954
		コーコビアンカ ふたたびの演奏会 ◇ 女声合唱組曲「マッチ売りの少女のあはなし」 原作：アンデルセン 作詞：いそべかず 磯辺叔作曲 ◇ 「菩提樹」シユーベルト作曲、「セレナータ」トスティ作曲 他 指揮：村田由紀子 伴奏：海津幸子、鹿野千里 バス：鹿野由之 ナレーター：奥山有美子 会場：関内ホール・小ホール 入場無料 問い合わせ：牧野美津子さん 045-592-6661
30日 (日) 開演 14:00		川崎混声合唱団第38回定期演奏会 ◇ 混声合唱「山に祈る」清水脩：作 ◇ 混声合唱組曲「風のうた」中村千榮子作詩 大中恩作曲 ◇ 混声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」源田俊一郎編曲 ◇ 団員創作曲 他 指揮：相原未治、小笠原秀吉 伴奏：澤田啓子、遠藤有子 会場：麻生市民館大ホール 入場料：1,000円 問い合わせ：鈴木初太郎さん 044-722-2101
		コールリリカ第4回定期演奏会 ◇ 中田喜直作品集「忘れなぐさ」「ねむの花」他 ◇ 女声合唱組曲「紅花抄」芳賀秀次郎作詞 服部公一作曲 ◇ 「アヴェマリア」「エーデルワイス」「星に願いを」「流浪の民」他 指揮：福田美知子 ピアノ：橋本麻子 賛助出演：横浜ルミナス・コール 朗読：平井保 会場：横浜みなとみらいホール小ホール 入場料：1,000円 問い合わせ：鈴木郁子さん 045-333-9581
12 月	5日 (金) 開演 19:00	グリーンハーモニー 第2回「合唱コンサート」 ◇ 混声合唱による「越天楽」「さくらさくら」「あてもやん」他 ◇ 女声重唱による「春の日の花と輝く」「スミレの花咲く頃」他 ◇ 男声合唱による「谷間の灯火」「久しき昔」他 ◇ 他、独唱・ピアノ独奏 指揮と伴奏：塚本収子 伴奏と独奏：佐藤京子 ソプラノ独唱：山崎龍子 会場：杜のホールはしもと 入場無料 問い合わせ：庄野禎明さん 042-744-7211

12月	11日 (木) 開演 19:00	<b>アンサンブル・プリュサン</b> 4 t h「ちょっと気になるコンサート」 ◇外国のポップス「I F」「ラストフルツ」他 吉田孝古麿編曲 ◇初演!!女声合唱組曲「愛の風景」 風戸 強作詩 金井 信作曲 ◇ミュージカル「オペラ座の怪人」 金井 信編曲 指揮：吉田孝古麿 伴奏：金井 信、宮 恵子 会場：横浜みなとみらいホール小ホール 入場料：2,000円（全自由席） 問い合わせ：佐野 薫さん 045-331-3860
	13日 (土) 開演 13:30	<b>清泉女学院音楽部 第1回定期演奏会</b> ◇女声合唱のための組曲「ふくろうめがね」から 「どうなあこ」作詩 松下耕作曲 ◇二群の同声(女声)合唱とピアノのための「森へ」から 鈴木輝昭作曲 ◇クリスマス特集 ◇A B B A特集 指揮：佐藤美紀子 伴奏：林千裕、甲斐ゆず子 他 会場：清泉女学院講堂 入場無料 問い合わせ：山本さん、今富さん 0467-46-3171(学校)
	17日 (水) 開演 19:00	<b>アンサンブル・ピノ第4回演奏会</b> ◇「タベのうた」「四つのイタリアのマドリガル」コダーイ作曲 ◇「MASS No. 6」 オルバーン作曲 ◇「キャロルの祭典」 ブリテン作曲 指揮：松村 努 ピアノ：織田祥代 ハープ：井上 麗 会場：横浜みなとみらいホール小ホール 入場料：2,000円 問い合わせ：草間美恵子さん Tel&Fax 045-841-9296
	20日 (土) 開演 18:00	<b>横浜市立大学混声合唱団 第36回定期演奏会</b> ◇木下牧子特集 夢見たものは ティオの夜の旅 聞こえてくる 他 ◇A Choral Amen John Rutter作曲 ◇Daemon Irrexit Callidus Gyorgy Orban作曲 他 ◇「八重山・宮古の3つの島唄」から 松下 耕作曲 指揮：千葉 悠平 ピアノ：千葉 竜太 会場：磯子公会堂 入場料：大人1,000円 学生400円 問い合わせ：東野峻さん TEL 090-3212-4390
	23日 (火・祝日) 開演 14:30	<b>ほどがや少年少女合唱団第7回演奏会「どこかの森の物語」</b> ◇子どものための音楽物語「スイミー」 レオ=レオ二作 谷川俊太郎訳詞 薬師神武夫作曲 ◇女声(児童)のための合唱組曲「キュイジーヌ」 伊藤千鶴作詩 吉岡弘行作曲 ◇ミュージカル「どこかの森の物語」鈴木弘美脚本 他 指揮：福田美知子 ピアノ：橋本麻子 演出：鈴木弘美 会場：神奈川県立音楽堂 入場料：1,000円 問い合わせ：鈴木弘美さん 045-711-6335

# 卷末特集 第7回世界合唱シンポジウム京都大会へのお誘い

## 印象深いエリクソンのセミナー

世界合唱シンポジウムの思い出

理事長 桑原妙子

世界合唱シンポジウムが2005年に京都で開催されることを皆様ご存知のことと思います。1987年のワインでの第1回大会を皮切りに、その後3年ごとに開催されています。私は1990年第2回ストックホルム大会に参加したことがありますので、いささか古い情報ですが御参考までに・・・。

第2回への日本からの参加者は6人でした。（兵庫県連会長の洲脇先生ご夫妻、九州の大学の先生ご夫妻、私と娘）昨年のミネアポリス大会へは200人の日本人が参加したことから着実にシンポジウムが日本に浸透してきているのが分かります。ストックホルムの会場には世界の合唱団と指揮者がワクワク顔で集まっていました。最も印象深かったのは、憧れの名指揮者エリック・エリクソンのセミナーでした。受講した若手4人はエリクソンの一言で見違えるような指揮をするようになりました。

## 「世界合唱シンポジウム」とは



2005年7月27日～8月3日に京都で第7回世界合唱シンポジウムを開催します。このシンポジウムは国際合唱連合（IFCM）が3年ごとに催す世界的規模の「合唱の祭典」で、アジア地域では初めての開催となります。世界各地から2000人を超える合唱指導者・合唱団・合唱爱好者が集まってコンサート、ワークショップ、展示会を通じ交流を深めます。私たちにとっては世

界に印象的だったのは、まだソ連の占領下だったエストニアでのコンサートでした。参加者全員が船旅を楽しんだ後のコンサート会場は、一人の無名若手指揮者の豊かな音楽で興奮するつとなりました。きっとこの若者は世界的な指揮者になるだろうと確信しました。現在のスエーデン放送室内合唱団のトヌ・カリュステ氏こそ、その若者だったのです。合唱団も多数集まり、複数の会場で同時にコンサートが開催されました。ロシアの合唱団がffで低音を鳴らし続けるのに驚きましたが、たまたま食事で一緒になった時に、その食べる量の多さで演奏のパワーを納得しました。地元のスエーデンの女声合唱団が民族衣装でルチア祭を再現したり、現代音楽でテニスのシーンをまったく声を使わぬで演奏する(?)合唱団にビックリしたり、毎日が驚きと感激の連続でした。

京都でのシンポジウムを身近に感じて頂くために、そして「私も行ってみようかな」と思って頂くために、次号からは、その後のシンポジウムに参加した先生方に執筆して頂きたいと考えています。

界の合唱を知る貴重な機会であるとともに世界の人々に日本の合唱を知ってもらう場でもあります。

## 「世界合唱シンポジウムのための10円募金について」

この世界合唱の祭典を成功させるために、「10円募金」という形で皆様にご協力ををお願いする次第です。どうぞご理解のほどお願い申しあげます。

(社)全日本合唱連盟理事長 吉村信良

大会スローガン

人びとの歌 世界のうた 歌は人びとを結ぶ

Cantus populi, cantus mundi, Cantus omnibus unus.

### 編集後記

県連事務所が閑内へ移転し二ヶ月が経ちました。閑内駅から事務所までは5分程ですが久しぶりにハマッコの気分を味わっています。「カノン」コンサートガイドはメールでの申込みが出来るようになりましたのでお気軽にご利用下さい。また読者のページへの投稿をお待ちしております。

山口

7月下旬事務所移転のため 荷物整理の手伝いに行き1993年4月発行のカノン創刊号を見つけました。今回で43号。合唱団と県連をつなぐ情報誌として 編集委員一同「読み易く、魅力ある紙面」作りに取り組んでいます。

樋口

コンクールのお手伝いをしました。2日を1日開催にしたとたんに、参加団体が増えて、過酷な合唱祭の日曜日の時より長時間の従事で、朝8時集合21時解散となりました。舞台係りとしては、ピアノ移動に手間取り、40分以上進行を遅らせてしまいました。実行委員の方々も大変だったと思いますが、改善策を考え、歌い手の為にも、今年の轍を踏まぬよう、お願ひいたします。

清水

お母さんコーラス全国大会の視察に行きました。何より関西支部の皆さん(いつもハーモニーなどで見ている有名人が勢ぞろい!)のパワーがすごかったです。楽しそうなのがいいよね。鈴木

## ☆ コンサートガイド掲載要項

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したもの郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。(送り先は巻末に記載)

掲載項目：1. 開催日時 2. 合唱団名(会員番号も列記してください) 3. 演奏会名称  
4. ステージ・曲目(作詩・作曲者名も記してください)。紙面の都合で全て載せられないことがあります)  
5. 出演者 6. 会場 7. 入場料金等 8. 問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定

春号 4月20日発行予定 (〆切: 3月10日) 夏号 7月20日発行予定 (〆切: 6月10日)  
秋号 10月20日発行予定 (〆切: 9月10日) 冬号 1月20日発行予定 (〆切: 12月10日)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館ビル4F

045-681-6033(FAXとも)

ホームページURL : <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

eメールアドレス : kanagawakenren@nifty.com

